

平成30年度奈良県市町村民経済計算

2021年7月14日

奈良県総務部知事公室統計分析課

目 次

I	平成30年度奈良県県民経済計算(名目)の概要	P 1
II	地域別にみた平成30年度奈良県市町村民経済計算の概要	P 2
1	地域内総生産(名目)	P 2
1.1	地域内総生産(名目)と経済成長率(名目)	P 2
1.2	地域内経済活動別構成比(産業構造①)	P 3
1.3	地域内総生産の経済活動別特化係数(産業構造②)	P 4
2	地域別の市町村民所得(名目)	P 6
2.1	地域別市町村民所得(総額)	P 6
2.2	地域別の1人当たり市町村民所得	P 7
III	市町村別にみた平成30年度奈良県市町村民経済計算の概要	P 8
1	市町村内総生産(名目)	P 8
1.1	市町村ごとの経済成長率(名目)と産業別寄与度	P 8
1.2	市町村ごとの総生産(名目)	P 8
1.3	市町村内総生産の経済活動別構成比	P 9
2	市町村民所得(名目)	P 10
2.1	市町村ごとの市町村民所得(総額)	P 10
2.2	市町村ごとの1人当たり市町村民所得	P 11

平成30年度市町村GDP統計(奈良県市町村民経済計算)について

(目的)

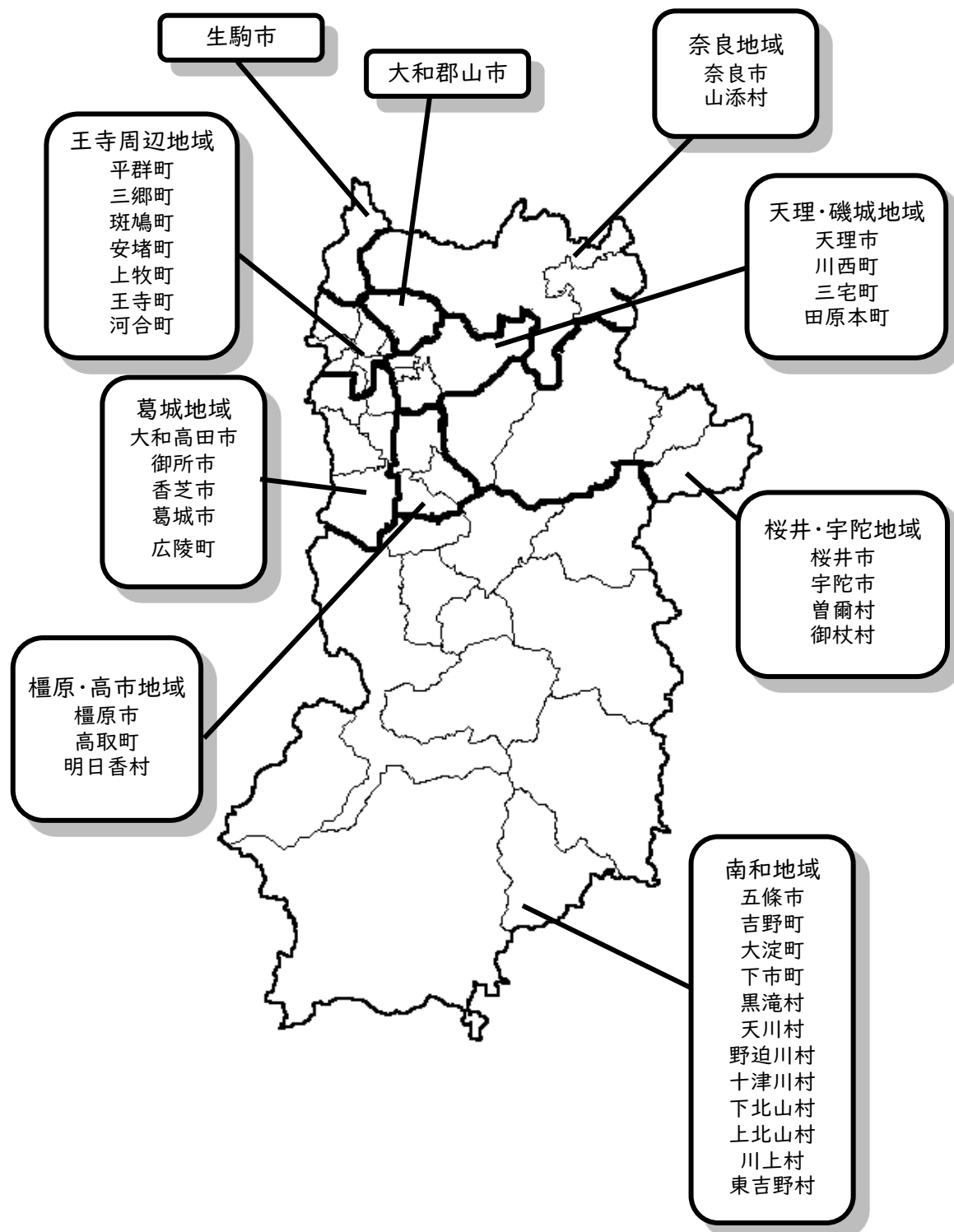
奈良県市町村民経済計算は、市町村における経済の規模、産業構造、所得水準などを包括的に把握することを目的として、市町村ごとの市町村内総生産(GDP)及び市町村民所得を推計したものです。

(推計方法)

奈良県県民経済計算(平成30年度版、令和3年5月公表)を経済センサス、商業統計調査、工業統計調査など各種統計データで市町村ごとに按分することにより推計しました。

(地域区分)

平成18年4月1日現在の「奈良県広域市町村圏」を基準として、県内を2市と7地域に区分し、地域ごとに推計を行っています。



※地域区分は、平成18年4月1日現在の広域市町村圏を基本としていますが、地理的状況から、山添村は奈良地域として区分しています。

I 平成30年度 奈良県県民経済計算(名目)の概要

県 全 域

- 県内総生産(名目)：3兆7,228億円(国 548兆3,670億円)
- 経済成長率(名目)：+1.7% (国 +0.1%)
- 1人当たり県民所得：263万2千円 対前年度比 +1.7%
(参考) 1人当たり国民所得 319万8千円 対前年度比 +1.1%

平成30年度の県経済成長率(名目)は、+1.7%と6年連続のプラスとなった。製造業などが減少したが、建設業や保健衛生・社会事業、卸売・小売業等が増加したことによる。
1人当たり県民所得は、263万2千円で、対前年度比 +1.7%と6年連続のプラスとなった。1人当たり国民所得(319万8千円)に対して82.3%の水準となった。

図1 経済成長率(名目)の推移

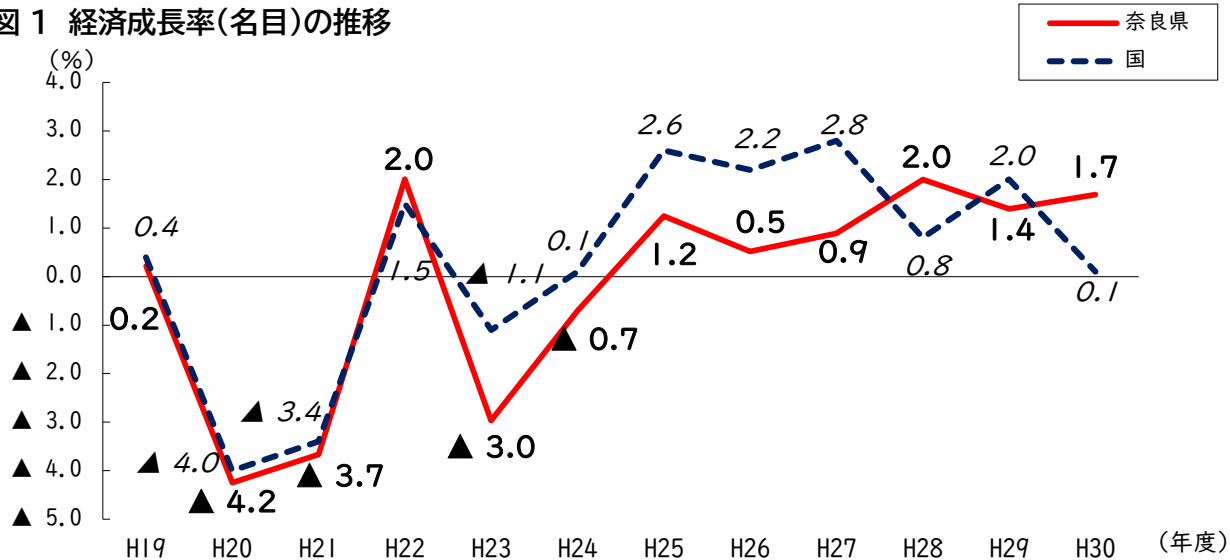


図2 1人当たり県(国)民所得の推移

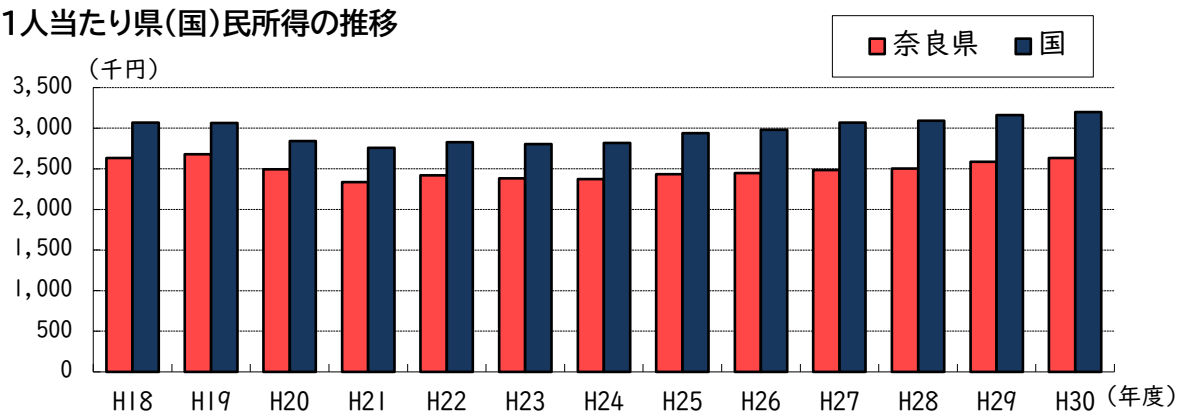


表1 経済成長率等の推移

		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
経済成長率(名目)	奈良県	-	0.2	▲4.2	▲3.7	2.0	▲3.0
	国	-	0.4	▲4.0	▲3.4	1.5	▲1.1
県(国)内総生産(名目)	奈良県	37,942	38,025	36,410	35,076	35,781	34,718
	国	529,034	530,923	509,482	491,957	499,429	494,043
1人当たり県(国)民所得	奈良県	2,634	2,682	2,496	2,337	2,419	2,385
	国	3,068	3,065	2,843	2,760	2,827	2,805

		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
経済成長率(名目)	奈良県	▲0.7	1.2	0.5	0.9	2.0	1.4	1.7
	国	0.1	2.6	2.2	2.8	0.8	2.0	0.1
県(国)内総生産(名目)	奈良県	34,475	34,905	35,085	35,398	36,105	36,609	37,228
	国	494,370	507,255	518,235	532,786	536,851	547,586	548,367
1人当たり県(国)民所得	奈良県	2,372	2,434	2,446	2,484	2,502	2,587	2,632
	国	2,820	2,938	2,983	3,070	3,091	3,164	3,198

注) 国値は内閣府「平成30年度国民経済計算年報」【平成23暦年基準】

II 地域別にみた平成30年度奈良県市町村民経済計算の概要

地域別

1 地域内総生産(名目)

1.地域内総生産(名目)と経済成長率(名目)

○ 経済成長率(対前年度増加率)は、7地域でプラスとなった。
 天理・磯城地域は+4.9%のプラス成長で製造業が大きく寄与した。

図3 地域内総生産(名目)と経済成長率(名目)

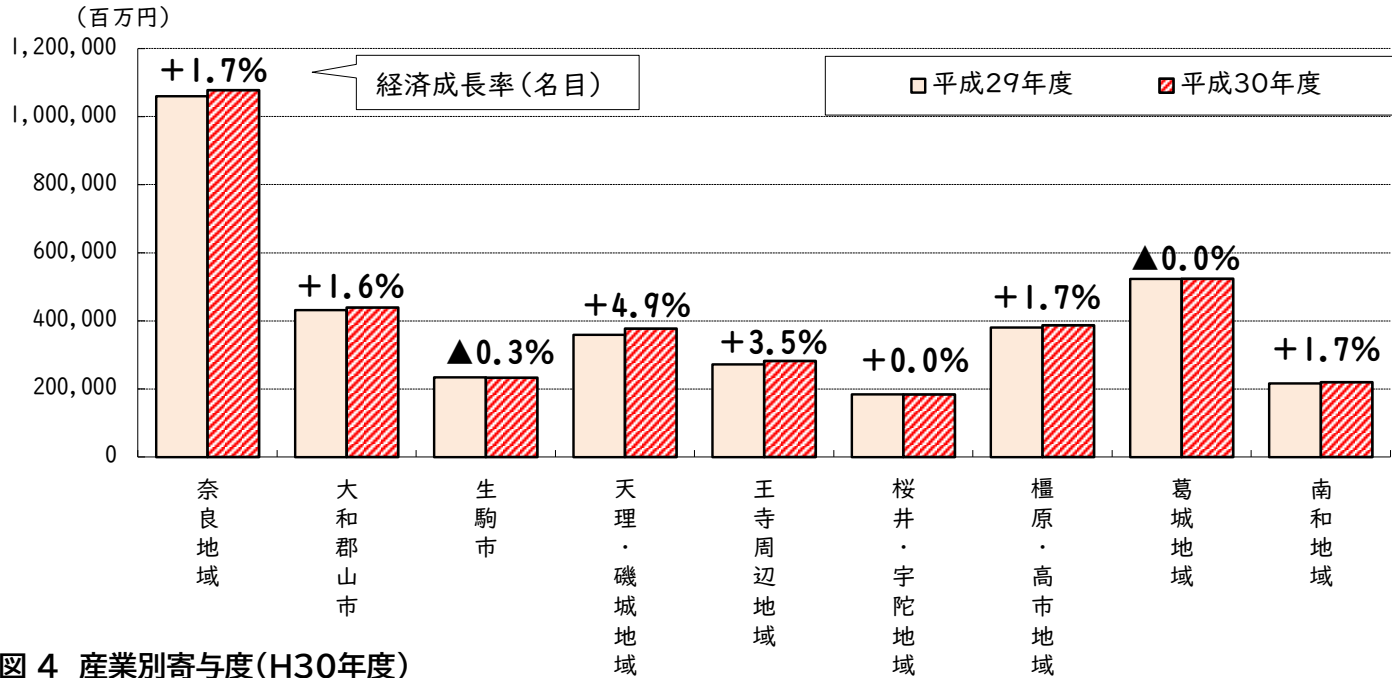


図4 産業別寄与度(H30年度)

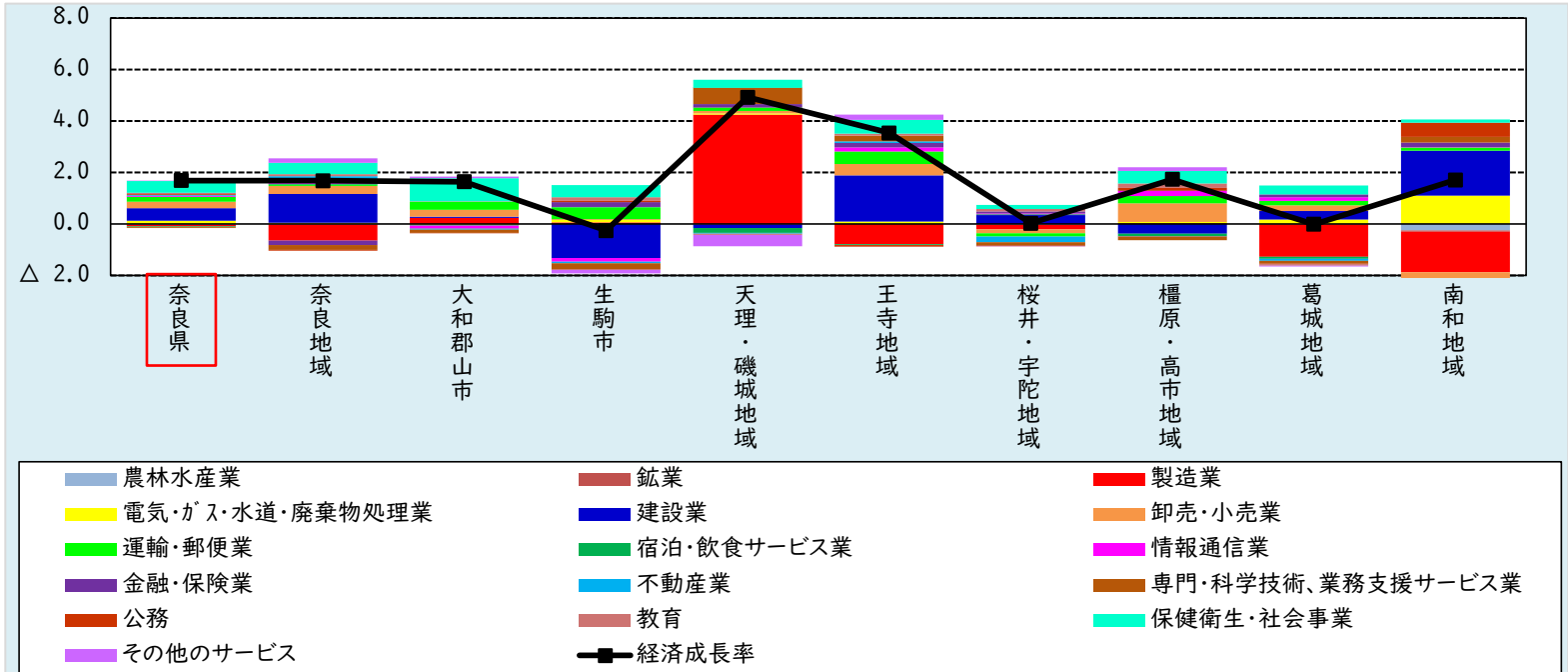


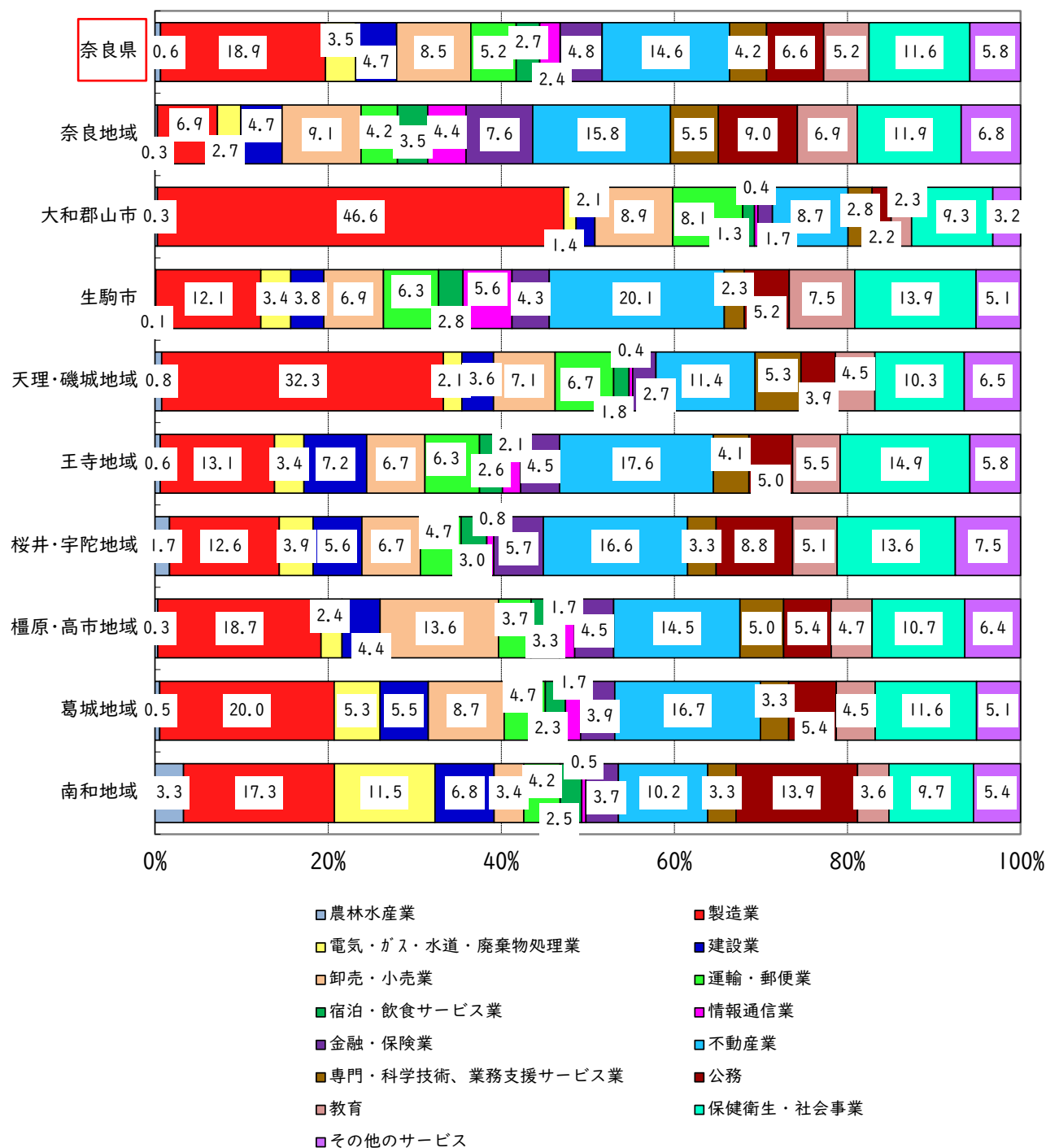
表2 地域内総生産の推移

	平成24年度			平成25年度			平成26年度			平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度		
	実数(百万円)	実数(百万円)	対前年度増加率(%)	実数(百万円)	実数(百万円)	対前年度増加率(%)	実数(百万円)	実数(百万円)	対前年度増加率(%)	実数(百万円)	実数(百万円)	対前年度増加率(%)	実数(百万円)	実数(百万円)	対前年度増加率(%)	実数(百万円)	実数(百万円)	対前年度増加率(%)	実数(百万円)	実数(百万円)	対前年度増加率(%)
奈良県	3,447,512	3,490,514	1.2	3,508,497	3,539,770	0.5	3,539,770	3,610,455	2.0	3,660,928	3,722,814	1.7	3,660,928	3,722,814	1.7	3,660,928	3,722,814	1.7	3,660,928	3,722,814	1.7
奈良地域	1,013,056	1,006,110	▲0.7	1,013,973	1,041,220	2.7	1,041,220	1,047,605	0.6	1,059,534	1,077,313	1.7	1,059,534	1,077,313	1.7	1,059,534	1,077,313	1.7	1,059,534	1,077,313	1.7
大和郡山市	374,323	379,936	1.5	391,524	410,981	5.0	410,981	421,242	2.5	431,964	439,048	1.6	431,964	439,048	1.6	431,964	439,048	1.6	431,964	439,048	1.6
生駒市	211,778	216,983	2.5	220,349	228,299	3.6	228,299	230,924	1.1	233,605	233,003	▲0.3	233,605	233,003	▲0.3	233,605	233,003	▲0.3	233,605	233,003	▲0.3
天理・磯城地域	329,052	335,974	2.1	333,750	339,989	1.9	339,989	342,228	0.7	359,486	377,175	4.9	359,486	377,175	4.9	359,486	377,175	4.9	359,486	377,175	4.9
王寺周辺地域	244,596	249,106	1.8	259,532	252,075	▲2.9	252,075	267,038	5.9	272,513	282,156	3.5	272,513	282,156	3.5	272,513	282,156	3.5	272,513	282,156	3.5
桜井・宇陀地域	190,493	187,609	▲1.5	183,891	182,356	▲0.8	182,356	184,762	1.3	183,811	183,856	0.0	183,811	183,856	0.0	183,811	183,856	0.0	183,811	183,856	0.0
橿原・高市地域	363,963	375,005	3.0	368,003	363,877	▲1.1	363,877	369,959	1.7	380,286	386,899	1.7	380,286	386,899	1.7	380,286	386,899	1.7	380,286	386,899	1.7
葛城地域	510,251	525,331	3.0	522,714	512,160	▲2.0	512,160	527,791	3.1	523,719	523,658	▲0.0	523,719	523,658	▲0.0	523,719	523,658	▲0.0	523,719	523,658	▲0.0
南和地域	210,000	214,460	2.1	214,761	208,813	▲2.8	208,813	218,906	4.8	216,010	219,706	1.7	216,010	219,706	1.7	216,010	219,706	1.7	216,010	219,706	1.7

2.地域内経済活動別構成比(産業構造 ①)

- 奈良地域 …………… 県全域と比べて金融・保険業、公務の割合が高い。
- 大和郡山市 …………… 製造業の割合が4割以上と高い。
- 生駒市、王寺地域 …………… 不動産業(帰属家賃含む)の割合が高い。
- 天理・磯城地域 …………… 県全域と比べて製造業、運輸・郵便業の割合が高い。
- 桜井・宇陀地域 …………… 不動産業(帰属家賃含む)、保健衛生・社会事業の割合が高い。
- 橿原・高市地域 …………… 県全域と比べて卸売・小売業の割合が高い。
- 南和地域 …………… 電気・ガス・水道・廃棄物処理、公務の割合が高い。

図 5 地域内経済活動別構成比(H30年度)



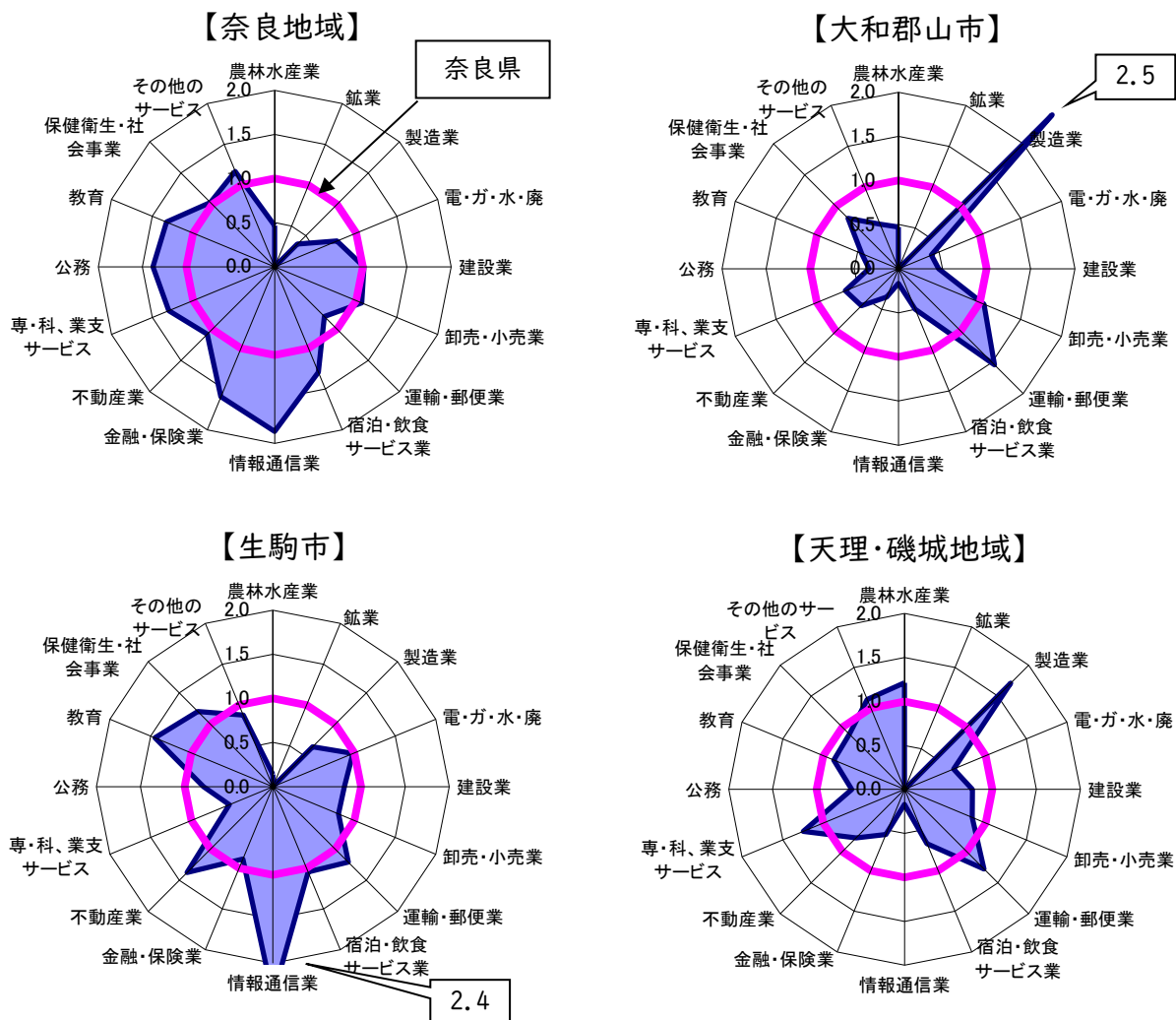
※鉱業は、県全体の構成比が0.05%未満のため非表示。

3.地域内総生産の経済活動別特化係数(産業構造 ②)

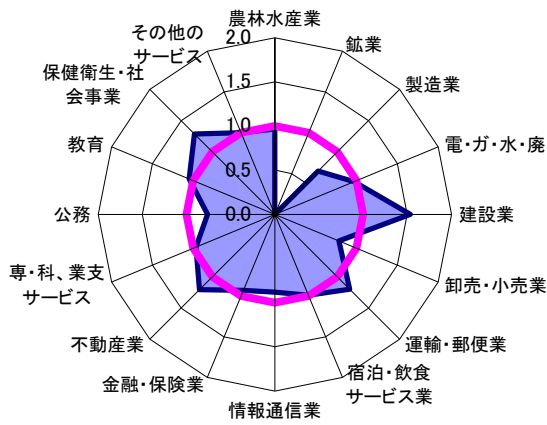
奈良県全体と比較して特化している(特徴的な)産業

- 奈良地域 …………… 宿泊・飲食サービス業、情報通信業、金融・保険業、
専門・科学技術、業務支援サービス業、公務、教育
- 大和郡山市 …………… 製造業、運輸・郵便業
- 生駒市 …………… 情報通信業、不動産業、教育
- 天理・磯城地域 …… 製造業、運輸・郵便業
- 王寺周辺地域 …… 建設業、保健衛生・社会事業
- 桜井・宇陀地域 …… 農林水産業、公務、その他のサービス
- 橿原・高市地域 …… 卸売・小売業
- 葛城地域 …………… 鉱業、電気・ガス・水道・廃棄物処理業
- 南和地域 …………… 農林水産業、鉱業、電気・ガス・水道・廃棄物処理業、建設業、公務

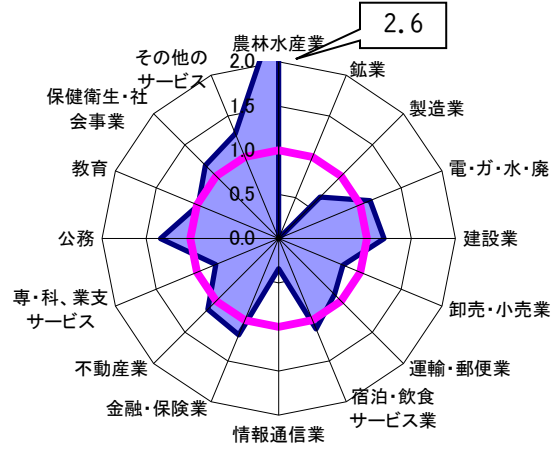
図 6 地域内総生産の経済活動別特化係数(H30年度)



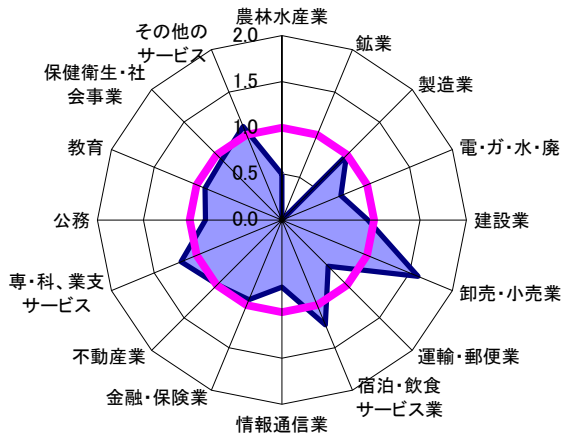
【王寺周辺地域】



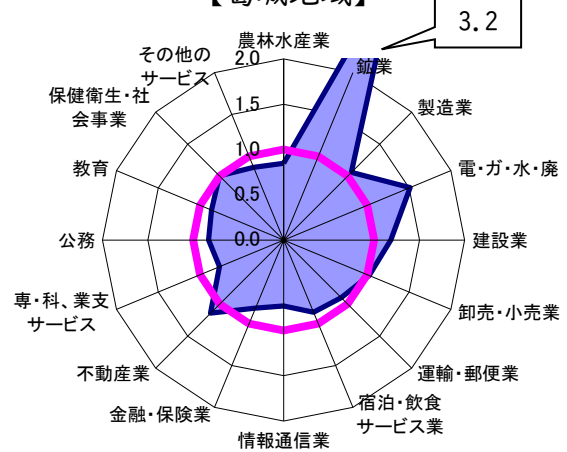
【桜井・宇陀地域】



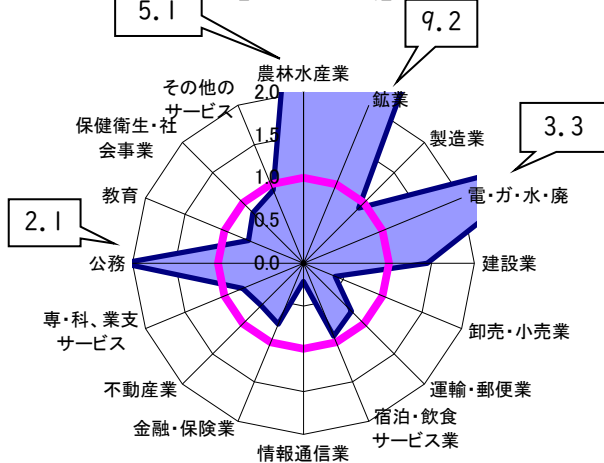
【檀原・高市地域】



【葛城地域】



【南和地域】



特化係数

特化係数は、各地域の各経済活動別構成比を県の構成比と比較して、県からみた相対的な偏りを表す指標です。

この値が1.0を離れるほど、県と比較して特徴的な構成を示していることとなりますが、その産業の特化係数が高いからといって、その地域の主要産業であるとは限りません。

$$\text{特化係数} = \frac{\text{各地域の各経済活動別構成比}}{\text{県の各経済活動別構成比}}$$

※電・ガ・水・廃＝電気・ガス・水道・廃棄物処理業
 ※専・科、業支サービス＝専門・科学技術、業務支援サービス業

2 地域別の市町村民所得(名目)

1.地域別市町村民所得(総額)

○ 地域別市町村民所得が最も高いのは、奈良地域 1兆668億円。(県内シェア30.3%)

平成30年度の地域別市町村民所得は、奈良地域 1兆668億円、次いで葛城地域 5,976億円、生駒市 3,704億円、橿原・高市地域 3,435億円、王寺周辺地域 3,381億円、天理・磯城地域 2,520億円、大和郡山市 2,254億円、桜井・宇陀地域 1,837億円、南和地域 1,461億円となった。

図 7 県民所得の地域別構成比(H30年度)

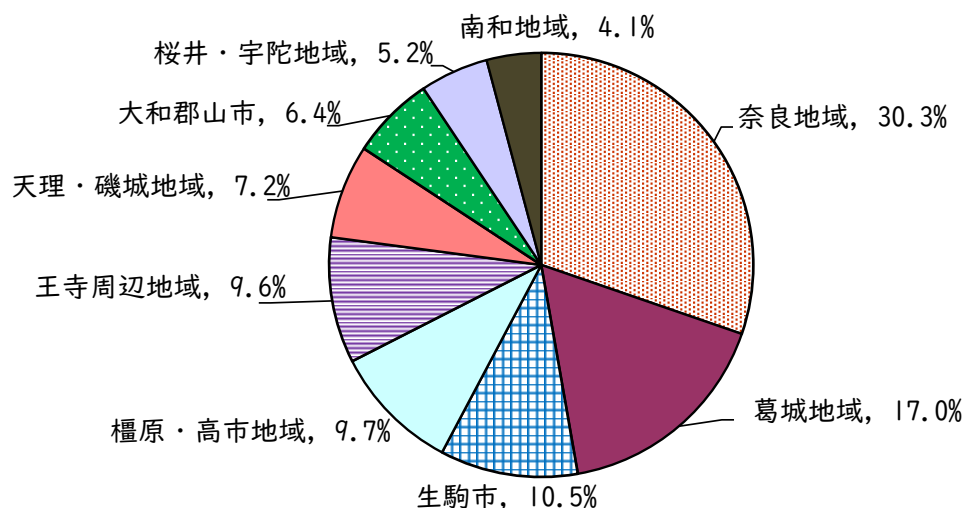


図 8 地域別市町村民所得の要素別構成比(H30年度)

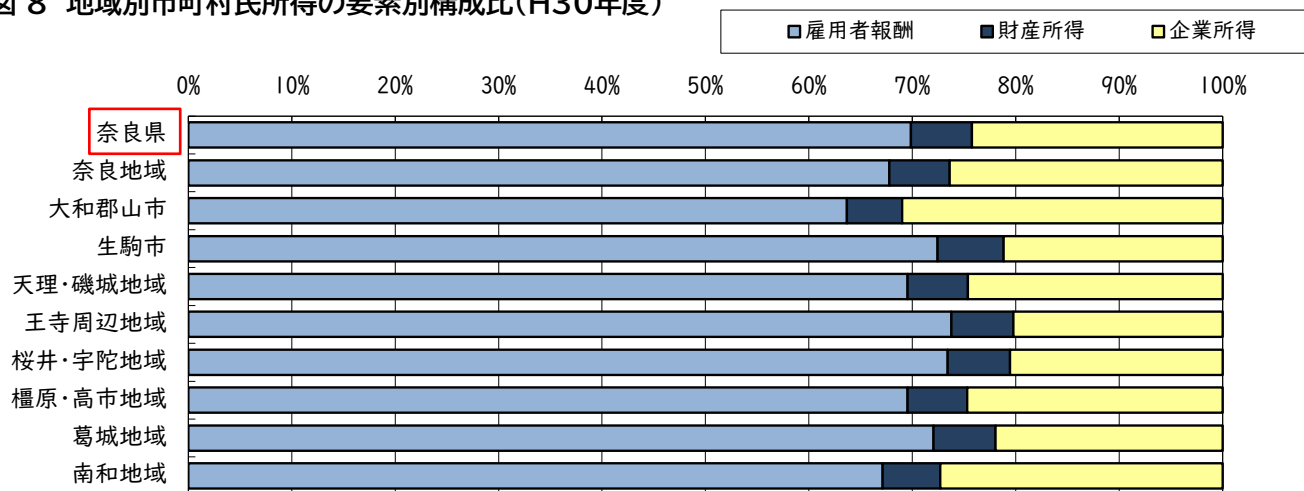


表 3 地域別市町村民所得(H30年度)

(単位:百万円)

	市町村民所得(分配)			雇用者報酬		財産所得		企業所得				
	県内でのシェア(%)	対前年度増加率(%)		構成比(%)	対前年度増加率(%)	構成比(%)	対前年度増加率(%)	構成比(%)	対前年度増加率(%)			
奈良県	3,523,616	100.0	1.1	2,461,841	69.9	▲ 1.4	208,351	5.9	▲ 3.3	853,424	24.2	10.3
奈良地域	1,066,844	30.3	1.4	723,021	67.8	▲ 1.5	62,512	5.9	▲ 3.1	281,311	26.4	10.7
大和郡山市	225,377	6.4	3.2	143,517	63.7	▲ 0.8	12,022	5.3	▲ 2.4	69,838	31.0	13.9
生駒市	370,415	10.5	0.6	268,305	72.4	▲ 2.2	23,707	6.4	▲ 4.2	78,403	21.2	13.8
天理・磯城地域	252,033	7.2	2.8	175,300	69.6	▲ 0.7	14,710	5.8	▲ 2.5	62,023	24.6	15.7
王寺周辺地域	338,074	9.6	0.2	249,411	73.8	▲ 1.2	20,350	6.0	▲ 3.5	68,313	20.2	7.2
桜井・宇陀地域	183,661	5.2	▲ 0.5	134,825	73.4	▲ 2.4	11,114	6.1	▲ 3.3	37,722	20.5	8.3
橿原・高市地域	343,499	9.7	1.0	238,847	69.5	▲ 0.9	19,844	5.8	▲ 3.8	84,808	24.7	8.4
葛城地域	597,601	17.0	0.6	430,513	72.0	▲ 1.1	35,983	6.0	▲ 3.0	131,105	21.9	7.8
南和地域	146,112	4.1	▲ 0.3	98,102	67.1	▲ 2.9	8,109	5.5	▲ 3.4	39,901	27.3	7.5

2.地域別の1人当たり市町村民所得

○ 1人当たり市町村民所得が最も高いのは、生駒市 315万7千円。(対前年度比 + 1.1%)

平成30年度の地域別の1人当たり市町村民所得が最も高いのは、生駒市の315万7千円、次いで奈良地域の297万6千円、大和郡山市の264万1千円で、この3地域が1人当たり県民所得(260万円)を上回った。

一方、橿原・高市地域255万3千円、葛城地域252万2千円、王寺周辺地域243万3千円、天理・磯城地域の224万7千円、南和地域216万3千円、桜井・宇陀地域209万3千円の6地域が、1人当たり県民所得を下回った。

対前年度増加率をみると、9地域全てがプラスとなった。

なお、市町村民経済計算の示す所得とは、個人や企業、一般政府など各地域全体としての経済規模・活動状況を表したもので、個人の「所得」の状況を表したものではありません。

図9 地域別1人当たり市町村民所得と増減率

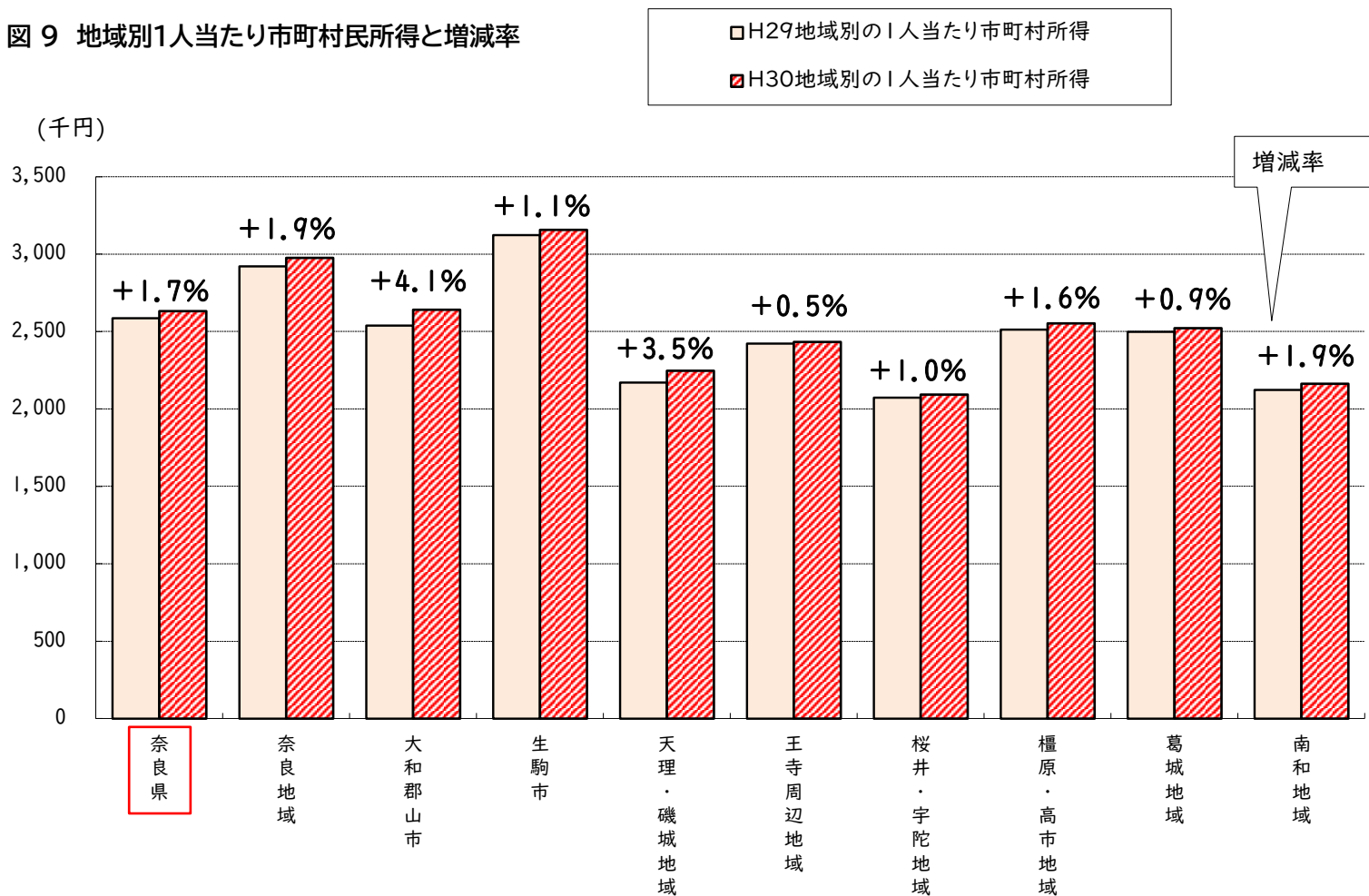


表4 地域別1人当たり市町村民所得の推移

	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	実数(千円)	実数(千円)	対前年度増加率(%)	実数(千円)	対前年度増加率(%)	実数(千円)	対前年度増加率(%)	実数(千円)	対前年度増加率(%)	実数(千円)	対前年度増加率(%)	実数(千円)	対前年度増加率(%)	
奈良県	2,372	2,434	2.6	2,446	0.5	2,484	1.6	2,502	0.7	2,587	3.4	2,632	1.7	
奈良地域	2,675	2,758	3.1	2,756	▲ 0.1	2,825	2.5	2,823	▲ 0.1	2,921	3.5	2,976	1.9	
大和郡山市	2,378	2,425	2.0	2,432	0.3	2,509	3.2	2,482	▲ 1.1	2,538	2.3	2,641	4.1	
生駒市	2,954	2,999	1.5	3,024	0.8	3,042	0.6	3,109	2.2	3,123	0.5	3,157	1.1	
天理・磯城地域	2,025	2,078	2.6	2,107	1.4	2,146	1.9	2,106	▲ 1.9	2,171	3.1	2,247	3.5	
王寺周辺地域	2,316	2,347	1.3	2,352	0.2	2,340	▲ 0.5	2,351	0.5	2,422	3.0	2,433	0.5	
桜井・宇陀地域	1,884	1,926	2.2	1,923	▲ 0.2	1,941	0.9	2,003	3.2	2,072	3.4	2,093	1.0	
橿原・高市地域	2,242	2,341	4.4	2,374	1.4	2,387	0.5	2,409	0.9	2,512	4.3	2,553	1.6	
葛城地域	2,278	2,314	1.6	2,338	1.0	2,371	1.4	2,395	1.0	2,499	4.3	2,522	0.9	
南和地域	1,783	1,877	5.3	1,860	▲ 0.9	1,896	1.9	1,976	4.2	2,123	7.4	2,163	1.9	

Ⅲ 市町村別にみた平成30年度市町村民経済計算結果の概要

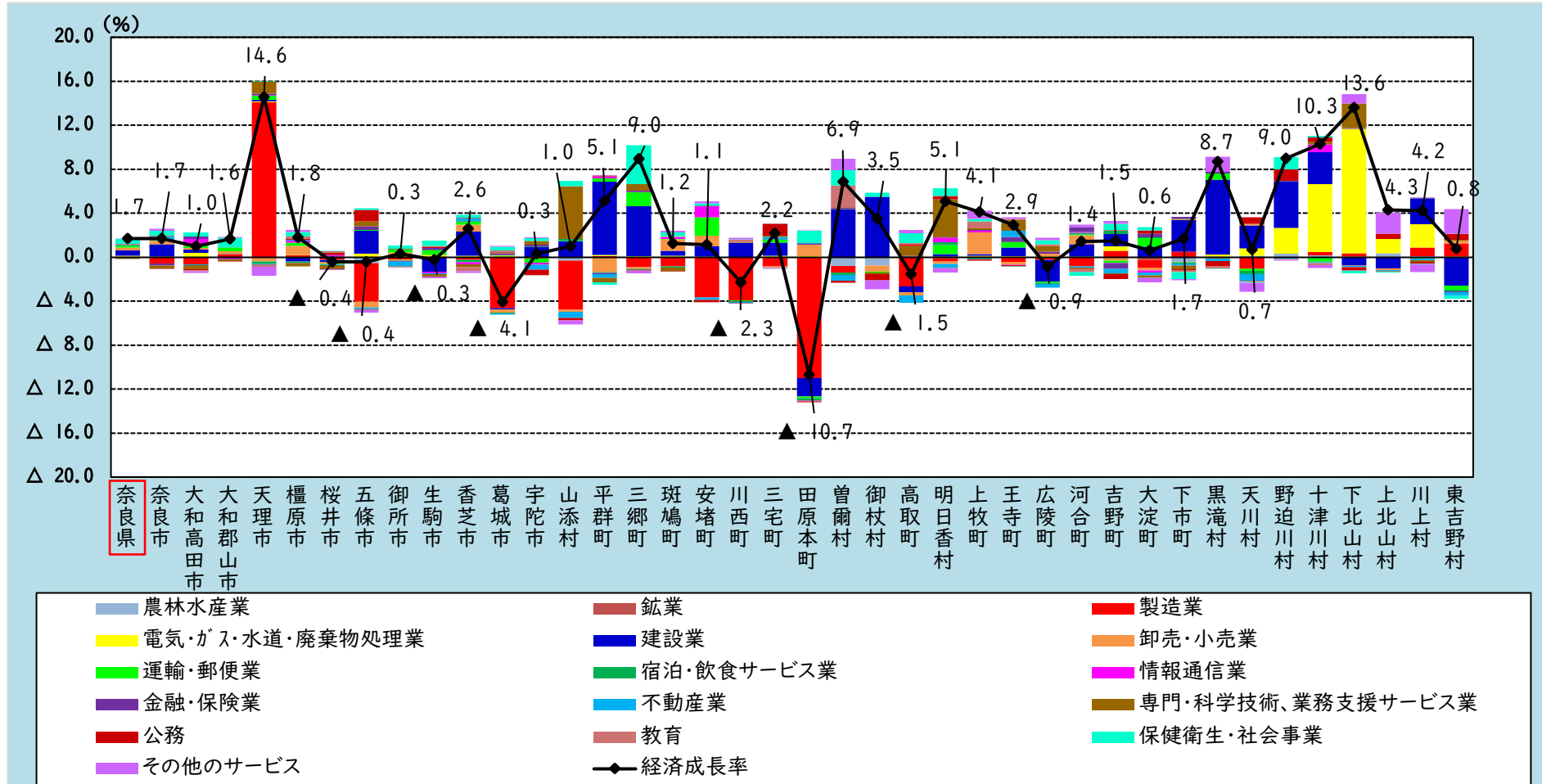
市町村別

1 市町村内総生産(名目)

1.市町村ごとの経済成長率(名目)と産業別寄与度

- 実際の取引額で算出した平成30年度の名目成長率は、天理市、下北山村、十津川村等の31の市町村でプラス。
- プラス成長の市町村は、建設業や電気・ガス・水道・廃棄物処理業等の寄与度がプラスとなったことが大きく、マイナス成長の市町村(田原本町、葛城市等)は、製造業等の寄与度がマイナスとなった。

図 10 市町村ごとの経済成長率(名目)と産業別寄与度 (H30年度)



注) 御杖村、黒滝村、野迫川村及び上北山村は秘匿により、製造業及び宿泊・飲食サービス業の寄与度を算出していないため、寄与度の合計が経済成長率に一致しない。

2.市町村ごとの総生産(名目)

- 総生産の県内シェアは奈良市が一番大きく、28.5%。以下、大和郡山市(11.8%)、橿原市(9.6%)、生駒市(6.3%)等の市がつづく。
- 町村の中では、田原本町(2.4%)が一番大きく、以下、王寺町(1.7%)、広陵町(1.7%)がつづく。

表 5 市町村ごとの総生産(名目)と県内シェア等 (H30年度)

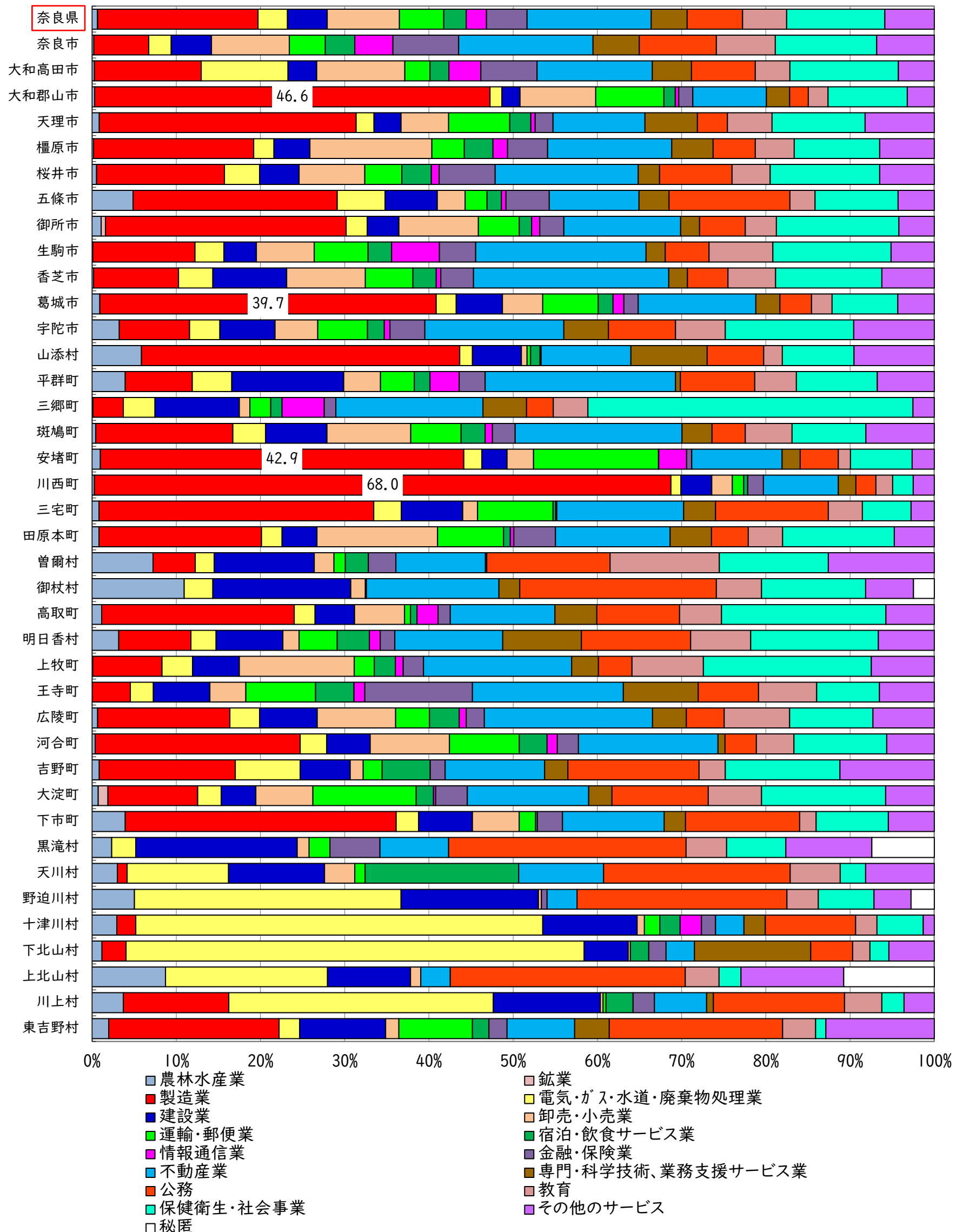
	H29年度	H30年度	成長率	県内シェア
奈良県	3,660,928	3,722,814	1.7	100.0
奈良市	1,045,086	1,062,725	1.7	28.5
大和高田市	153,953	155,477	1.0	4.2
大和郡山市	431,964	439,048	1.6	11.8
天理市	199,603	228,727	14.6	6.1
橿原市	350,825	357,112	1.8	9.6
桜井市	121,642	121,121	▲ 0.4	3.3
五條市	98,741	98,303	▲ 0.4	2.6
御所市	73,811	74,037	0.3	2.0
生駒市	233,605	233,003	▲ 0.3	6.3
香芝市	123,830	127,040	2.6	3.4
葛城市	109,782	105,300	▲ 4.1	2.8
宇陀市	54,895	55,068	0.3	1.5
山添村	14,448	14,588	1.0	0.4
平群町	25,338	26,637	5.1	0.7
三郷町	39,847	43,416	9.0	1.2
斑鳩町	44,661	45,211	1.2	1.2
安堵町	23,638	23,908	1.1	0.6
川西町	46,859	45,779	▲ 2.3	1.2
三宅町	13,583	13,881	2.2	0.4

	H29年度	H30年度	成長率	県内シェア
田原本町	99,441	88,788	▲ 10.7	2.4
曾爾村	4,113	4,395	6.9	0.1
御杖村	3,161	3,272	3.5	0.1
高取町	17,701	17,431	▲ 1.5	0.5
明日香村	11,760	12,356	5.1	0.3
上牧町	39,826	41,459	4.1	1.1
王寺町	60,078	61,836	2.9	1.7
広陵町	62,343	61,804	▲ 0.9	1.7
河合町	39,125	39,689	1.4	1.1
吉野町	19,460	19,749	1.5	0.5
大淀町	40,751	40,995	0.6	1.1
下市町	12,433	12,644	1.7	0.3
黒滝村	1,671	1,816	8.7	0.0
天川村	4,057	4,085	0.7	0.1
野迫川村	2,468	2,690	9.0	0.1
十津川村	17,365	19,150	10.3	0.5
下北山村	6,142	6,978	13.6	0.2
上北山村	2,412	2,516	4.3	0.1
川上村	5,446	5,677	4.2	0.2
東吉野村	5,064	5,103	0.8	0.1

3.市町村内総生産の経済活動別構成比

- 経済活動別で製造業の構成比が一番高い市町村は、15市町村で、川西町(68.0%)、大和郡山市(46.6%)、安堵町(42.9%)、葛城市(39.7%)などとなっている。
- 公務の比率が高い市町村は、黒滝村(28.0%)をはじめ吉野郡の町村に多い。

図 11 市町村内総生産の経済活動別構成比 (H30年度)



注 1) 輸入品にかかる税・関税等を加算する前の構成比で比較

注 2) 御杖村、黒滝村、野迫川村及び上北山村は製造業及び宿泊・飲食サービス業が秘匿となっている

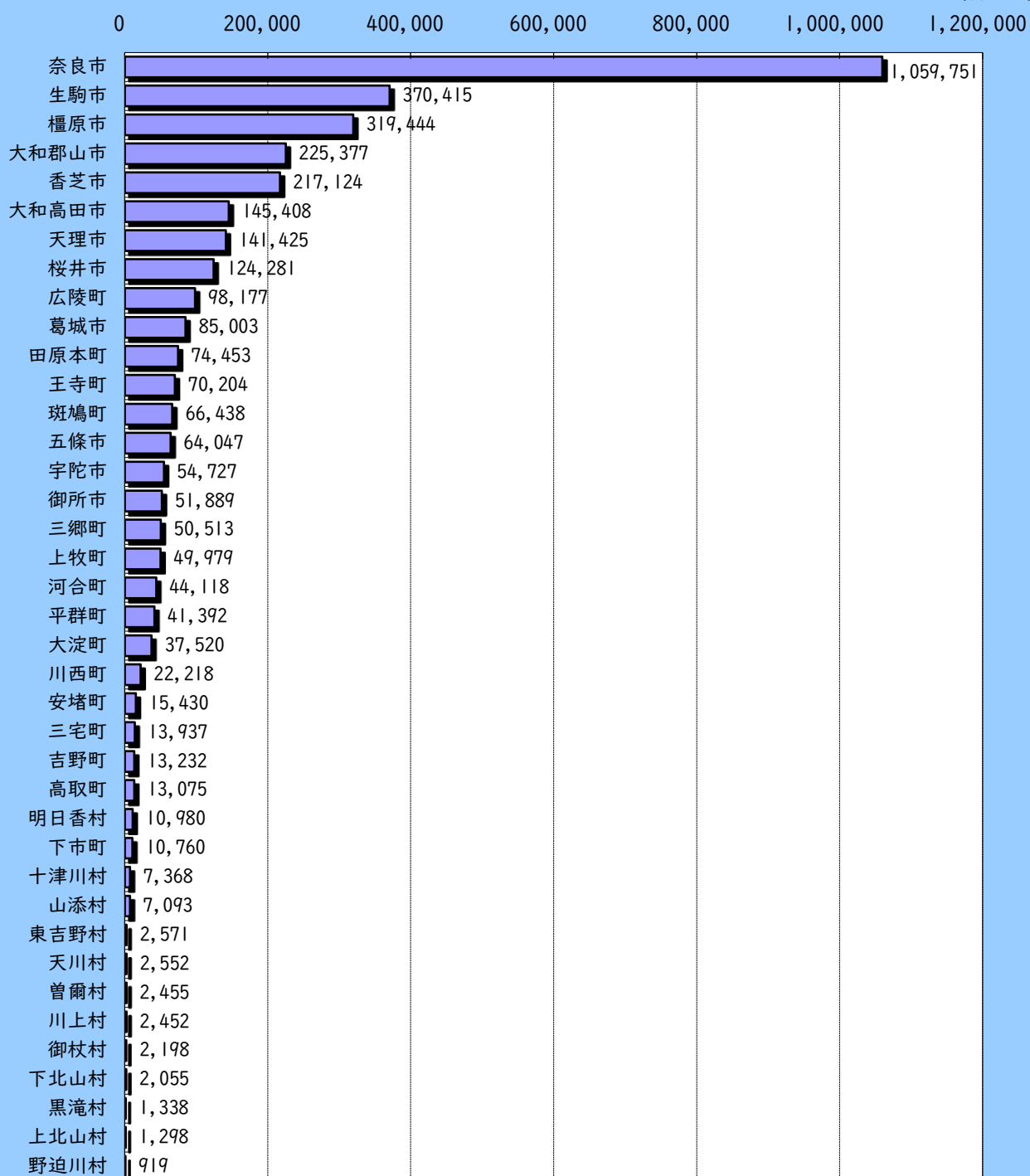
2 市町村民所得(名目)

1.市町村ごとの市町村民所得(総額)

○ 奈良市が1兆598億円で最も高く、次いで生駒市3,704億円、橿原市3,194億円と続く。

図 12 市町村民所得(H30年度)

(百万円)



2.市町村ごとの1人当たり市町村民所得

注) 1人当たり市町村民所得= 雇用者所得+財産所得+企業所得(企業の利潤等)の合計を市町村人口で除したものであり、給料等の水準を表すものではありません。

- 奈良県の1人当たり県民所得を上回るのは、生駒市(315万7千円)、奈良市(298万5千円)、王寺町(296万円)等、8市町村。
- 大阪府等への通勤者が多く、大阪府等から雇用者報酬を得ている市町村が、県水準を上回る傾向にある。

図 13 1人当たり市町村民所得(H30年度)

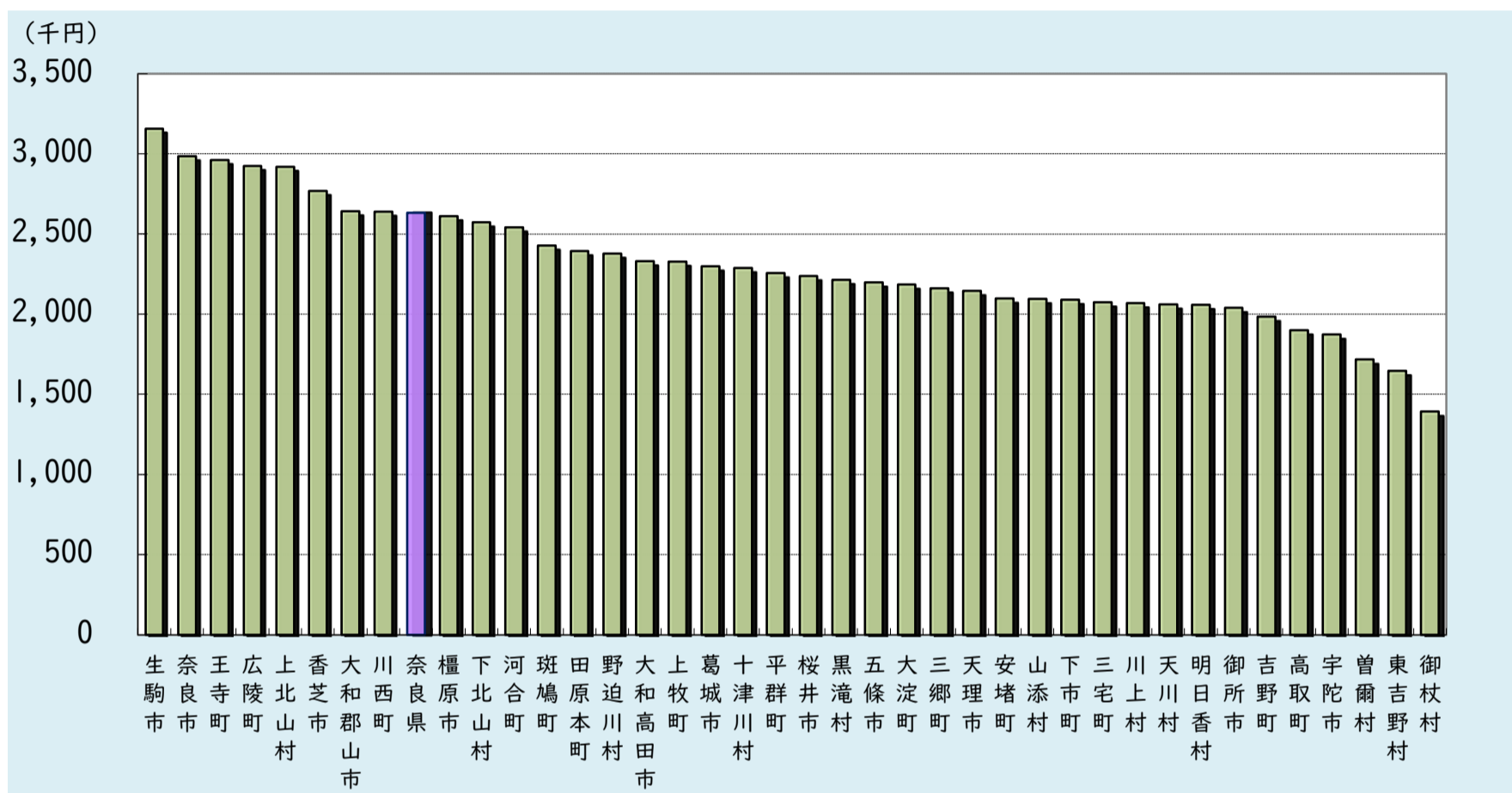


表 6 市町村ごとの1人当たり市町村民所得(H30年度)

(単位:千円、%)

	H29年度	H30年度	増減率	水準
奈良県	2,587	2,632	1.7	100.0
奈良市	2,929	2,985	1.9	113.4
大和高田市	2,277	2,329	2.3	88.5
大和郡山市	2,538	2,641	4.1	100.3
天理市	2,066	2,146	3.9	81.5
橿原市	2,564	2,611	1.8	99.2
桜井市	2,202	2,238	1.6	85.0
五條市	2,165	2,198	1.5	83.5
御所市	1,975	2,040	3.3	77.5
生駒市	3,123	3,157	1.1	119.9
香芝市	2,761	2,767	0.2	105.1
葛城市	2,286	2,297	0.5	87.3
宇陀市	1,887	1,873	▲ 0.7	71.2
山添村	2,024	2,095	3.5	79.6
平群町	2,282	2,256	▲ 1.1	85.7
三郷町	2,178	2,162	▲ 0.7	82.1
斑鳩町	2,427	2,427	0.0	92.2
安堵町	2,065	2,099	1.6	79.7
川西町	2,457	2,640	7.4	100.3
三宅町	2,082	2,074	▲ 0.4	78.8

(単位:千円、%)

	H29年度	H30年度	増減率	水準
田原本町	2,337	2,393	2.4	90.9
曾爾村	1,656	1,717	3.7	65.2
御杖村	1,361	1,394	2.4	53.0
高取町	1,879	1,901	1.2	72.2
明日香村	2,147	2,058	▲ 4.1	78.2
上牧町	2,289	2,328	1.7	88.4
王寺町	2,922	2,960	1.3	112.5
広陵町	2,943	2,924	▲ 0.6	111.1
河合町	2,538	2,542	0.2	96.6
吉野町	1,907	1,984	4.0	75.4
大淀町	2,166	2,186	0.9	83.1
下市町	2,006	2,089	4.1	79.4
黒滝村	2,174	2,213	1.8	84.1
天川村	2,033	2,060	1.3	78.3
野迫川村	2,309	2,377	2.9	90.3
十津川村	2,296	2,287	▲ 0.4	86.9
下北山村	2,557	2,574	0.7	97.8
上北山村	2,769	2,919	5.4	110.9
川上村	1,862	2,069	11.1	78.6
東吉野村	1,630	1,646	1.0	62.5